

修学旅行で3つの発見

10月24日(木)～25日(金)に6年生が奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。初日は曇天の中での活動でしたが元気よくあいさつができて、礼儀正しい富岡小の皆さんはどこへ行っても歓迎されました。今回の修学旅行の目的は3つの発見(学び・仲間のよさ・自分の成長)でした。

- 「学びの発見」は実物を観ることで日本の歴史を「知る」ことができました。教頭先生の仏像のスペシャル授業も大いに役立ちました。
- 「仲間のよさの発見」は奈良公園での班別研修で道に迷いそうになった時に地図を見ながら、仲間を無事に目的地に導いてくれた仲間の今まで知らなかったよさに「気付き」ました。
- 「自分の成長の発見」はしおりを見ながら、次の行動や時間を自分達で意識して行動できる姿から一人一人の成長を「感じ」ました。



具体的な行動でいうと「時間行動」が完璧でした。法隆寺の夢殿の見学、東大寺の大仏の鼻の穴くぐりが出来たこと、2日目の7時40分の出発が7時30分に出発できて、混まない金閣寺を見学できたこと等、『時間は与えられるものではなく、自分たちで生み出すもの』ということを知りましたね。これからの6年生の活躍がますます楽しみです。

1年生のみんなから素敵な贈り物

修学旅行の2日前の朝の会、1年生のみんなが北舎4階の6年生教室に来てくれました。手には「何か」持っています。代表児童の「修学旅行、気を付けて行ってきてね!」という挨拶の後、1年生のみんなから6年生一人一人に天気と安全の願いをこめた「てるてるぼうずのお守り」が手渡されました。予期せぬサプライズで6年教室は驚きと感激に包まれました。1年生がこんな素敵なサプライズをしてくれたのは、4月から6年生が1年生のみんなを大切にしてくれているからです。休み時間になると6年生のお兄さんやお姉さんに遊んでもらおうと1年生は元気に外へ出てきます。困った時に優しく声をかけてくれる6年生の姿もよく見かけます。この様子を見れば、1年生からの素敵な贈り物は6年生を想う1年生の純粋な気持ちのあらわれであり、本校で大切にしている子ども同士の「絆づくり」が形になった姿です。お守りのおかげで天候にも恵まれ、安全に修学旅行に行くことが出来ました。1年生の皆さんありがとうございました。

